

## 大学生1年目の生活を振り返って

寄市立大学への進学が決まり、これからどんな大学生活が始まるのかと期待と不安の気持ちを抱えながら名寄へ引っ越してきました。

か、自分の目標にあった履修登録をどのようにすればいいのかなど様々なことで悩み、あっという間に時間が過ぎていきました。

しました。

サークル活動も制限があり、家でオンライン授業を受けてアルバイトへ行くと生活が続きませんでした。なかなか友人と遊ぶ機会を作るのも難しく自分が思い描いていた大学生活とは違った生活でした。

しかし後期が始まると規制が少し緩まったことで対面授業が増え、やっと大学生らしい生活を始める

ことができました。アルバイトと勉強の両立は大変なことでもありませんでしたが、先輩や友人の力を借りて乗り越えることができました。自分が所属する学科以外の友人もでき、コロナ禍でありながらも有意義な時間を過ごせたと思います。

大学生1年目はとても早く過ぎ去っていったように感じます。大学での出来事は高校までの出来事と異なり新鮮なことが多く、毎日が学びであふれています。

しみながら勉強をできていていると思います。もう大学生2年目に突入しますが、自分の目標を達成するために後悔が残らないように大学生生活を楽しみながら頑張りたいです。

実際に大学が始まると道外から名寄へ引っ越してきた人が思っていたよりも多く、新鮮に感じた記憶があります。慣れない一人暮らしに加え、初めてのアルバイトはどこで働く

か、自分の目標にあった履修登録をどのようにすればいいのかなど様々なことで悩み、あっという間に時間が過ぎていきました。

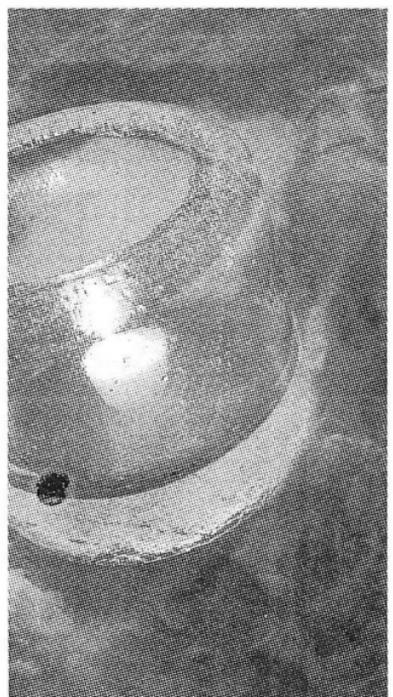
サークル活動も制限があり、家でオンライン授業を受けてアルバイトへ行くと生活が続きませんでした。なかなか友人と遊ぶ機会を作るのも難しく自分が思い描いていた大学生活とは違った生活でした。

しかし後期が始まると規制が少し緩まったことで対面授業が増え、やっと大学生らしい生活を始める

大学生1年目はとても早く過ぎ去っていったように感じます。大学での出来事は高校までの出来事と異なり新鮮なことが多く、毎日が学びであふれています。

しみながら勉強をできていていると思います。もう大学生2年目に突入しますが、自分の目標を達成するために後悔が残らないように大学生生活を楽しみながら頑張りたいです。

鈴木陽菜



高校3年生の冬に第1志望であった名

大